

提出された請願・陳情は以下になりました

請願名	請願第1号 街灯設置に関する請願書	請願第2号 牛瀨福祉館建築に関する請願書	陳情名	陳情第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について（依頼）
請願内容	牛瀨町集落から高山稲荷神社に通じる県道高山稲荷神社線には、街灯が設置されていない。安全確保のため、街灯の設置を求める。	牛瀨地区の車力高齢者コミュニティセンターは老朽化によりトイレの故障やカビの発生により利用に支障をきたしているため、新たに牛瀨福祉館の建築を求める。	陳情内容	新型コロナウイルス感染症のまん延により、来年度においても厳しい財政運営を余儀なくされるものと予想される中、地方自治体は環境問題など新たな財政需要にも対応しなければならないため、地方税財源の充実確保を求める。
請願者	地縁団体 牛瀨町内会 会長 小山内 竹一	地縁団体 牛瀨町内会 会長 小山内 竹一	陳情者	全国市議会議長会 会長 清水 富雄
委員会の意見・結果	（総務常任委員会付託） 現地確認の結果、他地区と比較し、緊急性が低いと判断して不採択とする。しかし、カーブや交差点など事故の発生が懸念される箇所への街灯設置について、市から所管する県に対して要望するよう求める。	（教育民生常任委員会付託） 現地確認や利用状況などを鑑み、緊急性が低いと判断して不採択とする。しかし、継続して施設を使用できるように修繕等で対応するよう市に求める。	委員会の意見・結果	（総務常任委員会付託） 来年度においても厳しい財政運営が予想され、社会保障関係経費など、将来に向け [※] 増嵩する財政需要に見合う財源が求められるため、これを採択し、意見書案を本会議に提出する。

委員会発議

発議第3号

※^{ぞうすう}増嵩…金額などが増加すること

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案

地方自治体ではコロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け[※]増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、令和4年度地方税制改正に向け、地方一般財源総額の十分な確保など強く国に要望する。

意見書案は全会一致で可決され、議長名で内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長ほか関係省庁へ送付しました。

議員発議

発議第4号

青森県立木造高等学校の学級数維持を求める意見書案

木造高等学校は文武両道を掲げ、大学進学、公務員の就職などに成果を収め、西北地区の中学生に高い人気を誇っているが、[県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画案](#)では木造高等学校の学級数を削減する方針を示している。学級数の削減は学校全体の活動の衰退にもつながるため、現状の学級数を維持するよう県および県教育委員会、県議会に要望する。

意見書案は全会一致で可決され、議長名で県および県教育委員会、県議会に意見書を提出しました。